

2026年9月21日(月・祝) 開演:14:00 (開場:13:00)

東京芸術劇場コンサートホール

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

助成：  文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会



<https://www.tkwo.jp/>

 つくる。つつむ。つなく。
東京佼成ウインドオーケストラ

下野竜也、「2」の魔術

Tokyo Kosei Wind Orchestra

第175回定期演奏会

[指揮]

下野竜也

[ユーフォニアム]

岩黒綾乃



PROGRAM | プログラム

呪文と踊り／J.B.チャンス

Incantation and Dance / John Barnes Chance [約8分]

交響曲第2番／J.B.チャンス

Symphony No.2 / John Barnes Chance [約18分]

第1楽章 スススランド ～ エネルジコ I. Sussurrando - Energico

第2楽章 エレヴァート II. Elevato

第3楽章 ブランチョ III. Slancio

休憩 Intermission [20分]

巫女の舞／保科洋

Miko Dance / Hoshina Hiroshi [約12分]

交響曲第2番／保科洋

Symphony No.2 / Hoshina Hiroshi [約32分]

第1楽章：アレグロ・モデラート・エ・マエストーゾ～ ヴィヴァーチェ

I. Allegro Moderato e Maestoso - Vivace

第2楽章：レント・ミステリオーズ II. Lento misterioso

第3楽章：アレグロ・コン・ブリオ III. Allegro con brio

■ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | プロフィール

指揮

下野 竜也

Shimono Tatsuya,
Conductor

広島ウインドオーケストラ音楽監督、NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。

鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演に招かれている。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督を歴任。

洗足学園音楽大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にあたる。

齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。

NHK大河ドラマテーマ曲収録（7作品）、NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティを務めるなど、放送においても活躍している。

PROFILE | プロフィール



ユーフォニアム

岩黒 綾乃

Iwakuro Ayano
Euphonium

国立音楽大学卒業、同時に卒業演奏会出演。

パリ国立高等音楽院を満場一致の最優秀で卒業。

ユーフォニアムを三浦 徹、フィリップ・フリッチュ、ジャン＝リュック・プティブレの各氏に師事。

第18回日本管打楽器コンクール第1位受賞。

第4回チェジュ国際金管楽器コンクールにて第2位受賞(第1位なし)。

リサイタル「from D コンサートシリーズ」に出演。

CDソロアルバム「ファンタジー コンチェルタンテ」をリリース。

NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。

現在、東京佼成ウインドオーケストラ楽団員、洗足音楽大学客員教授、名古屋音楽大学客員准教授、東京音楽大学、東京藝術大学、武蔵野音楽大学非常勤講師、ミュージックスクール「ダ・カーポ」講師。

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生 (TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

ジョン・バーンズ・チャンスについて

ジョン・バーンズ・チャンスは、1932年にテキサス州で生まれたアメリカの作曲家。9歳からピアノを学び、高校時代には打楽器奏者として研鑽を積む一方、作曲にも強い関心を抱いた。高校3年生のときには初めての管弦楽作品となる交響曲を作曲し、母校のオーケストラによって初演されている。その後、テキサス大学でクリフトン・ウィリアムズ(1923-1976)らに作曲を学び、学士号および修士号を取得した。専攻は作曲であったが、大学の吹奏楽団や管弦楽団ではティンパニ奏者としても活躍し、大学院修了後はオースティン交響楽団やアメリカ陸軍軍楽隊でもティンパニを担当した。チャンスの作品で打楽器が重要な役割を果たすのは、このような経歴によるのだろう。軍楽隊退役後には、フォード財団の若手作曲家支援プロジェクトに選ばれ、1960年から1962年にかけてノースカロライナ州グリーンズボロの公立学校のために作曲活動を行った。この時期には独奏曲、合唱曲、室内楽、管弦楽曲など幅広い作品を手掛けるとともに、初めて吹奏楽作品も作曲している。その後はケンタッキー大学で教鞭を執りながら創作活動を続け、『朝鮮民謡の主題による変奏曲』(1966)はABAオストワルド賞を受賞し、吹奏楽の名作として高く評価されている。

将来を嘱望されていたチャンスだが、1972年に飼い犬が逃げ出さないように自宅裏庭に張っていた電気フェンスに触れ、39歳で不慮の事故死を遂げた(40歳と記されることもあるが、誕生日を迎える前であったため39歳が正しい)。遺された作品は多くは無いが、その一つひとつは珠玉のものとして輝いている。

ジョン・バーンズ・チャンス

呪文と踊り

前述のように、チャンスはフォード財団より推薦を受けてノースカロライナ州で学校音楽の作曲活動を行っており、そこで吹奏楽に触れる機会があった。このことから、公式的なチャンス初の吹奏楽作品として作られたのが、この『呪文と踊り』である。本作は1960年に作られ、同年11月16日にハーバート・ヘイゼルマン指揮のグリーンズボロ高校バンドによって初演されている。当初のタイトルは『夜想曲と踊り(Nocturne and Dance)』とされていたが、1963年に楽譜が出版された際に改題されている。

また、出版の際には31小節のカットが行われているという。2011年に第2版が出版されている。

タイトルからは儀式的な趣きを感じられるが、なにか特定の宗教を題材としたものではない。2つの部分から成る音楽の、序盤からは祈りのような呪術的な雰囲気、主部からは陶酔的な舞踏の雰囲気が、それぞれ感じられるだろう。

序奏部である「祈り」は3/4拍子、Largo。わずか32小節ながら、最低音域のフルート独奏に始まり、2人だけで演奏するよう指定されたクラリネットや、ハット・ミュートを用いた金管群など、緻密に計算された音色の組み合わせによって幻想的な響きを生み出している。長三和音を平行移動させる独特の和声も、この楽章の神秘性を際立たせている。

打楽器群に導かれて開始される「踊り」は4/4拍子でPresto。やがて開始される本格的な踊りは、複雑な変拍子に聞こえるが、楽譜には4/4拍子で記されている。これはスクール・バンドが演奏できるように便宜的にその記譜法が採られているだけで、2小節の4/4(合計8拍)の内訳は本質的には「3/4+3/8+2/4+3/8」であると、元々の自筆譜には記されている。次第に「祈り」の線的素材も回帰してゆき、最後は熱狂的に曲を閉じる。

Picc / Fl(div) / Ob / Bsn / Cl 1,2,3 / Alt-Cl / Bas-Cl / Cb-Cl / Alt-Sax 1,2 /
Ten-Sax(div) / Bar-Sax / Trp 1,2,3,4 / Hrn 1,2,3,4 / Trb 1,2 / Bas-Trb / Bar(div) /
Tuba(div) / Cb / Timp / Perc

ジョン・バーンズ・チャンス

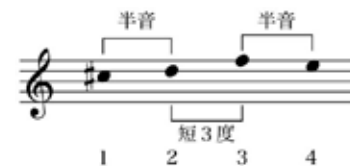
交響曲第2番

先述の通りチャンスは高校生の頃に管弦楽のための交響曲を作っており、それが『交響曲第1番』とされている。それ以後、チャンスが遺した交響曲は吹奏楽のために作られたこの第2番のみである。

さて、チャンスの師であるクリフトン・ウィリアムズだがチャンスとは年齢は8歳違いで、やがて親友と呼べる間柄となる。1961年、チャンスとウィリアムズは「Cis-D-F-E」という4つの音による動機(譜例)を使って、それぞれが作曲することを約束した。チャンスはすぐに『吹奏楽のための交響曲』と名づけた作品のスケッチに取りかかり、現在の第1楽章と第2楽章の大枠を作成した。それを録音(どのような形かの詳細は不明)しウィリアムズに送ったところ、なぜかウィリアムズはこの計画を放棄してしまった。それを受け、チャンスもまたこの曲を完成させず放置することになる。約10年後、ノースウェスト音楽センター(ノースダコタ州)の支援を受けたマイノット州立ウインド・アンサンブルから委嘱を受けたことを契機に、チャンスは再びこの作品に取り組む。残されていた大枠の第1楽章に序奏部とコードを加筆、さらに第3楽章を書き下ろし1972年に完成させた。しかし、その直後に不慮の事故で急逝したため、完成した作品を自身が耳にすることはなかった。初演の詳細なデータは不明であるが、おそらくは委嘱団

体によってすぐに行われたのであろう。

曲は、全曲が譜例の動機によって統一されている。「半音関係にある2つの音を短3度で接続する」という構造は、いわゆるBACHモチーフと同じだ。また、モーツァルトのジュピター音型の最初の1音を半音上げたものと見なすこともできる。さらに、この動機を増4度上のG音開始に移高したものを重ねて音高順に並び替えると、メシアンの「移調の限られた旋法」第2番(ジャズなどでcombination of diminished scaleと呼ばれるものと同じ)にもなる。音楽史的にも作曲技法的にも大きな可能性を感じる素材といえよう。チャンスはこの動機をそのまま、あるいは順番を入れ替えたり、逆行形や反行形にしたりして使用している。垂直的にはユニゾンの箇所も多く、ある意味で驚くほど単純な書法によって18分を一気呵成に聴かせる手腕は見事だ。



第1楽章 Sussurrando - Energico

「ささやくように」とされた3/4拍子の序奏部は、わずか35小節。ヴィブラフォンと8声に分割されたフルート群で動機が提示される。続く主部は「力強く」とされた4/4拍子によるソナタ形式。全体的に半音が主体となった楽章である。最初は動機はそのままの形で使われるが、やがて(譜例に付した番号で)「2-1-4-3」に並び替えたものも登場する。

第2楽章 Elevato

「気高く」とされた4/4拍子による緩徐楽章で、動機に含まれる短3度を主体とする。最初に提示されるのは「2-3-1-4」に並び替えた動機の音程幅を拡大したもので、原型と同じくロザリオ音型の特徴を有している。シグナル的に打ち込まれる短い音型は「2-1-4-3」。やがて「1-4-2-3」、「2-3-4-1」による短3度の接続による歌へと発展していき、切れ目なく次の楽章に入る。

第3楽章 Slancio

「勢いよく」とされた6/8拍子の快速楽章。「2-1-4-3」の動機が中心となって邁進するが、随所でゲネラルパウゼを挟む緊張感も味わい深い。全音の反復も特徴的で、3つの楽章でそれぞれ異なる音程幅が印象付けられていることが分かる。最後は動機の原型が奏され、最後のE音の引き伸ばしで全曲を閉じる。

Picc / Fl(8div) / Ob 1,2 / Eng-Hrn / Bsn 1,2 / Es-Cl / Cl 1(div),2(div),3(div),4(div) /
Bas-Cl / Cb-Cl / Alt-Sax 1,2 / Ten-Sax / Bar-Sax / Trp 1,2,3,4 / Hrn 1,2,3,4 /
Trb 1,2,3,4 / Bar(div) / Tuba(div) / Cb / Timp / Perc

保科洋について

保科洋は1936年1月31日に生まれた。小学4年生の頃に音楽の授業でメロディ創作の楽しさを教わり、作曲家への思いが芽生えた。中学生のときに市川交響楽団に打楽器として参加、高校では管弦楽部に入部している。その後、東京藝術大学作曲科に入学すると長谷川良夫に師事、大学の卒業作品で1960年に音楽コンクール(現：日本音楽コンクール)作曲部門(管弦楽曲)第一位を受賞している。その後、作曲家として多数の作品を発表しつつ、東京音楽大学、愛知県立芸術大学、作陽音楽大学、兵庫教育大学で教鞭を執るなど教育者としても活動してきた。その一方でアマチュア音楽への理解も厚く、大学卒業直後しばらく市川交響楽団を指揮したほか、現在でも岡山大学交響楽団や保科アカデミー室内管弦楽団“アンサンブル＝ハルモニア”の指揮者を務めるなど、アマチュア管弦楽団との関係も大事にしている。

その保科を吹奏楽の世界と結びつけたのが、東京藝術大作曲科の同級生として出会ったのが兼田敏(1935-2002)。一時期、保科の家に下宿していた兼田は中学生の頃から吹奏楽に情熱を注いでいた。そんな兼田が1967年からヤマハ音楽振興会からの委嘱で小・中編成のための編曲『ヤマハ吹奏楽シリーズ』(YBS)計60曲をおよそ半年で編曲することとなった。時間的に不可能なため兼田は保科に助力を求め、以後、保科と兼田は二人三脚ともいうべき中で日本の吹奏楽の発展に尽力していくことになる。数多くの作編曲はもちろん、1974年に日本バンドクリニックが三重県の合歓の郷で初めて開催されたときには二人でクリニック委員に就任、多くの講習会・組織で中心的な役割を果たしてきた。ドイツ構造主義的な作風で金管楽器の扱いが巧みな兼田と、フランス抒情主義的な作風で木管楽器の扱いを得意とする保科。ある意味で対照的な二人の天才が同時に存在し日本吹奏楽界を切り拓いてきたことは、奇跡というべきであろう。

保科の吹奏楽への愛情は、兼田の死後も全く衰えることはない。幾度かの生命に関わる大病も音楽への情熱で乗り越えてきた保科は、90歳を超えても現役の作曲家、指揮者、クリニシャンだ。昨年12月にもTKWOの委嘱でベートーヴェン『交響曲第9番《合唱付き》』全曲を吹奏楽編曲し話題となった。その姿は多くの後進の音楽家たちの先導者として輝き続けている。

保科洋

巫女の舞

本作は、元々は独奏ホルンと管弦楽のための作品として2006年に保科アカデミー室内管弦楽団のために作られ、翌年1月21日に杉本賢志の独奏、秋山隆の指揮で初演された曲。そのピアノ伴奏版はスイスで出版され、2009年にはイタリアで開催されたボルチア国際ホルンコンクールの本選課題曲に指定されている。その後、吹奏楽伴奏版も編まれ、2018年には浜松で開催されたアジア・太平洋吹奏楽大会において竹村淳司の独奏、フィルハーモニックウインズ浜松によって保科自身の指揮で演奏された。フィルハーモニックウインズ浜松は2011年に創設されたプロの吹奏楽団で、保科は設立当初から音楽監督兼常任指揮者として多くの演奏会や講習会を共にしている。同団が2019年に再びこの曲を定期演奏会で採り上げた際のリハーサルで、ホルン独奏の代奏を同団ユーフォニウム奏者である小久保まいが担当した。その音を聴いた保科はユーフォニウムで演奏する可能性を見出し、また小久保からの委嘱もあって2019年にユーフォニウムとピアノのための版を作成、翌年2月25日に小久保の独奏と新納洋介のピアノで初演された。このとき、調性が2度下げられ、ピアノパートにも大幅な変更が行われている。それをさらに編曲した吹奏楽伴奏版はアルビレオ・ウインド・アンサンブルの委嘱で作られ、2021年2月28日に小久保の独奏、保科の指揮で初演された。小久保はこの曲を2023年にアリゾナで行われた国際チューバ・ユーフォニウム会議において保科の指揮によるプラスバンド伴奏版でも演奏している。

曲はGrave(重々しく)による2小節の導入で開始され、Andantinoの抒情的な序奏部へと入る。やがて開始されるAllegro ritmicoの主部は7/8(2+3+2)と3/4が交錯する変拍子。これはやがて3/4拍子が主体となる。この後、AndanteあるいはAndantinoを挟みつつ、カデンツァ的な部分を経て最後は変拍子によりVivaceで曲を閉じる。この緩急が交互に並ぶ構成や快速部での変拍子、古代の儀式における舞という題材、といったことから、保科の代表作の一つである『古祀』(1978/2017)との共通性も見出せるだろう。

Solo Euph / Picc(Fl) / Fl 1,2 / Ob 1,2(Eng-Hrn) / Bsn / Es-Cl / Cl 1,2,3 / Bas-Cl /
Alt-Sax 1,2 / Ten-Sax / Bar-Sax / Trp 1,2,3 / Hrn 1,2,3,4 / Trb 1,2 / Bas-Trb / Euph /
Tuba / Cb / Timp / Perc

保科洋

交響曲第2番

「交響曲」という命題は、保科にとってもまた「憧れの名峰」であるという。これまでに保科が作曲した交響曲は全部で3つ。『第1番』は1996年に大阪市音楽団の委嘱で作られレコーディング初演されたもの(2022年に改訂)だが今回演奏される『第2番』が作られたのはそこから20年後。長らく間が空いているが、残念ながらコンクール一辺倒であった日本の吹奏楽界がようやく一つの音楽分野として実を結びつつある、と考えられようか。なお、『第3番』は2020年にTKWOが創立60周年を記念して委嘱したものである。

『第2番』は、広島ウインドオーケストラが「保科洋80歳記念プロジェクト」と銘打って2016年4月28日に行った第45回定期演奏会において、本日の指揮者である下野が初演した作品。この委嘱は2013年に行われた同団の結成20周年を祝うレセプションの場で下野が保科に「無茶振り」し実現したもので、2015年から作曲が開始され翌年2月に完成している。今回は、その下野による初演から10年経っての再演だが、その間、保科の他の作品でもしばしばあるように数回の改訂が行われている。2018年にフィルハーモニックウインズ浜松が再演するにあたって第2楽章を中心に全体的に改訂、また今年の2月には第3楽章の全体が半音高く移高されるなど大きな改訂がされている。下野にとっては「新たな再会」と言える。

曲は3つの楽章を持つ伝統的な交響曲の様式に即しているが、そこに保科特有のロマンティズムとモダニズムが盛り込まれた現代のシンフォニーとなっている。

第1楽章

序奏を伴う変則的なソナタ形式。Allegro Moderato e Maestoso(中庸に速く、堂々と)とされた序奏は勇壮なホルンによる、この交響曲全体を統一する原理主題の提示で開始される。この原理主題は16個の音で成るのだが、ここには12半音のうちdesを除く11の音が含まれている。続く主部は、第一主題はVivace の12/8拍子、第二主題はAndantino cantabile (やや速く、歌うように)の4/4拍子で提示される。この異なる2つの性格が展開され、Pesante(重々しく)やMaestoso(堂々と)を含むコーダで楽章を終える。

第2楽章

低音による完全5度の響きの持続が印象的なLento misterioso(遅く、神秘的に)で開始される緩徐楽章。終始3/4拍子で一貫しており、保科が「プロならではの表情にも期待する」としている通り、様々な楽器にソロが登場する。中間部をAndante con tenerezza(歩くような速さで、愛情をこめて)とする三部形式であり、随所にflessibile(柔軟に)やpoco agitato(少し興奮して)という標語

も表れる起伏の大きい楽章である。最後はperdendosi(失われていくように)として消えてゆく。

第3楽章

ロンド形式に近いAllegro con brio(速く、活気をもって)による、スピード感と持続力のある4/4拍子の快速楽章。ティンパニの独奏に続いて各楽器に受け継がれる形で提示される原理(これ自体が第1楽章冒頭の原理主題を基にしている)から導かれた2つの主題を軸に構成される。途中、Tranquillo(穏やかに)やPesante(重々しく)、Grandioso(壮大に)と様々な楽想を通過し、最後はAllegro vivace(速く、活き活きと)で原理主題を高らかに鳴らして全曲を閉じる。

Picc(Fl) / Fl 1,2 / Ob 1,2(Eng-Hrn) / Bsn 1,2 / Es-Cl / Cl 1,2,3 / Alt-Cl /
Bas-Cl / Calt-Cl(opt) / Alt-Sax 1,2 / Ten-Sax / Bar-Sax / Trp 1,2,3 / Hrn 1,2,3,4 /
Trb 1,2 / Bas-Trb / Euph / Tuba / Cb(div) / Timp / Perc / Hrp

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

指揮…………… 下野竜也

ユーフォニアム …… 岩黒綾乃

演奏…………… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo…………… 丸田悠太(Flute)

Baritone Saxophone …… 栃尾克樹

Flutes…………… 東佳音、上畠由梨乃、内田彩菜美、
岡本有紀、坂本伽耶、白戸美帆、
西岡あかね、古里莉子

Trumpets…………… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
本間千也^{*}、河原史弥

Oboes…………… 宮村和宏^{*}、桜田昌子

Horns…………… 上原宏、堀風翔^{*}、小助川大河、
小山千鶴

English Horn…………… 梅枝理恵

Tenor Trombones …… 今村岳志^{*}、石村源海、伊藤大智

Bassoons…………… 福井弘康、村山奈菜

Bass Trombone …… 丸田セヴェリン和輝

Clarinet in E b…………… 河西拓也

Euphoniums…………… 岩黒綾乃、大山智、成迫萌桜

Clarinet in B b…………… 大浦綾子、林裕子^{*}、野田祐太郎、
船橋菜里、河合莉奈、草野裕輝、
近野千昌、徳武敦、本田有里恵

Tubas…………… 池田侑太、中山彰

Alto Clarinet…………… 石田勝

Contrabass…………… 前田芳彰^{*}、寺田和正

Bass Clarinet…………… 泊明里

Timpani…………… 坂本雄希

ContraBass Clarinet …… 原浩介(Contra Alto Clarinet)

Percussion…………… 和田光世、小林公哉、柴田知明、
柴原誠、平尾信幸、藤原耕、
ニッ木千由紀、本間達也

Alto Saxophones…………… 林田祐和^{*}、五十嵐健太

Harp…………… 安井わかな

Tenor Saxophone…………… 都築惇、宮越敦士

※演奏委員

桂冠指揮者…………… フレデリック・フェネル
常任指揮者…………… 大井剛史
特別客演指揮者…………… トーマス・ザンデルリンク
楽芸員…………… 中橋愛生

首席客演指揮者…………… 飯森範親
広報アドバイザー…………… 阿南一徳

コンサートマスター
林田祐和
副コンサートマスター
宮村和宏

役員
理事長…………… 勝川本久
常務理事…………… 八反田弘

専務理事…………… 堀風翔
監事…………… 清水宏一

インスペクター
栃尾克樹
丸田悠太
今村岳志

事務局
事務局長…………… 勝川本久
事務局次長…………… 堀風翔
事務局長補佐…………… 八反田弘

営業
森ゆかり

広報
荻沼美帆(チケットサービス)

総務
佐原由起
竹内正道
山内真由子(パーソナルマネージャー)
青塚厚美

企画委員
原浩介
篠原華
大橋証太(ステージマネージャー)
羽田紀子(ライブラリアン)

賛助会・サポーターズクラブ
荻沼美帆
佐原由起

経理
竹内正道
青塚厚美

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX: 03-5341-1255 MAIL: patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2026年9月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社

維持会員 エーユーツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール

賛助会員	株式会社アシストジャパン 遠藤製作所 遠藤悦治 管楽器専門店ダク 鈴木住地(有) 立花産業(株) 中央鉄鋼 有限会社 株式会社 Fumon IT Systems みずほ証券株式会社	アトリエ・エム株式会社 株式会社CAFUAレコード 建友商工(株) 株式会社全音楽譜出版社 株式会社辰美製作所 フォスターミュージック株式会社 株式会社プリマ楽器 柳澤管楽器株式会社
------	---	--

個人会員

特別会員	天野 正道 野田 武彦 古沢 秀明	加賀美 猛 林 正作 ミーゴ	佐々木 潤 林 總太郎 山内 幸人	田中 淳子 久末とまこ
------	-------------------------	----------------------	-------------------------	----------------

匿名3名

維持会員：157名 / 賛助会員：79名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters

PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2026年9月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレン株式会社 広島本社
ブレン株式会社 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「タ・カーゴ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
ヤマハミュージック 横浜みなとみらい
株式会社 池袋音楽学院
株式会社CAFUAレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト
アトリエ・エム株式会社
インパシ楽器 横浜店

フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィングスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大栴
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社
方南町 共立薬局
御菓子司 大和や

▼個人のお客さま

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただませんか?
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra 2026-27 Season Concert Schedule

定期演奏会
スケジュール

第173回 定期演奏会 2026年 4月29日 [水・祝] 開演14:00(開場13:00) 終了 東京芸術劇場 コンサートホール	 指揮 ユベール・スダーン ● 歌劇「サムソンとデリラ」より「バツカナール」 ／C.サン＝サーンス／大橋晃一 編 ● サクソフォン四重奏と吹奏楽のためのコンチェルト・グロッツ[1992年委嘱作品] ／J.アンドリーセン ● バレエ音楽《ダフニスとクロエ》(全曲版)／M.ラヴェル／大橋晃一 編	
第174回 定期演奏会 2026年 7月5日 [日] 開演14:00(開場13:00) 終了 東京芸術劇場 コンサートホール	 指揮 大井剛史 (常任指揮者) マсланカ・チクルス Vol.4 ● 交響曲第3番／D.マсланカ ● 吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」／高 昌帥	
第175回 定期演奏会 2026年 9月21日 [月・祝] 開演14:00(開場13:00) 終了 東京芸術劇場 コンサートホール	 指揮 下野竜也 ● 呪文と踊り／J.B.チャンス ● 交響曲第2番／J.B.チャンス ● 巫女の舞／保科洋 ユーフォニアム独奏 岩黒綾乃 ● 交響曲第2番／保科洋	
第176回 定期演奏会 2026年 11月8日 [日] 開演14:00(開場13:00) 東京芸術劇場 コンサートホール	 指揮 大井剛史 (常任指揮者) マсланカ・チクルス Vol.5 ● クワイエット・コール[1991年委嘱作品] ／真島俊夫 トロンボーン独奏 今村岳志 ● ティンパニ協奏曲／酒井格 ● ティンパニ独奏 坂本雄希 ● 交響曲第8番／D.マсланカ	
第177回 定期演奏会 2027年 1月24日 [日] 開演14:00(開場13:00) 東京芸術劇場 コンサートホール	 指揮 飯森範親 (首席客演指揮者) ● 波の見える風景(改訂新版)／真島俊夫 ● 脆性ノスタルジア 吹奏楽のための／冷水乃栄流 ● 秘儀VI<ヘキサグラム>全曲(吹奏楽版世界初演)／西村朗／中橋愛生 編 ● バリのアメリカ人／G.ガーシュウィン／保科洋 編 ● 交響曲第2番(日本初演)／K.デイ	
第178回 定期演奏会 2027年 2月28日 [日] 開演14:00(開場13:00) 東京芸術劇場 コンサートホール	 指揮 大井剛史 (常任指揮者) ● 行進曲「希望に燃えて」／水島数雄 ● 日本民謡組曲「わらべ唄」／兼田敏 ● 冬山に逝ける若者への祈り／岩河三郎 ● TKWO委嘱作品[世界初演]／波立裕矢 ● サンシャイン序曲／E.E.バークレイ ● サンタフェ・サガ／M.ゲールド ● ディシジュアス／V.クオン ● 委嘱作品[世界初演]／D.ピーデンベンダー*	

*2025年度パーロウ賞受賞者による新作。委嘱コンソーシアムに参加する各団体が、それぞれ世界初演を行います。



東京佼成ウインドオーケストラ 自主演奏会スケジュール

北関東『吹奏楽のまち・小山』共創プロジェクト第1弾！

ウインド・クリスマス ～小さな吹奏楽が奏でる冬の名曲～

2026年 **12月19日** [土] 開演14:00(開場13:15) 小山市立文化センター大ホール

演奏 東京佼成ウインドオーケストラ15名によるアンサンブル

曲目 ● くるみ割り人形メドレー、星に願いを ほか

ファンタスティック☆クリスマス2026 ～吹奏楽で聴く人類の宝「第九」～

2026年 **12月22日** [火] 開演19:00(開場18:00) 東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 大井剛史 (常任指揮者)

ソプラノ 宮地江奈 メゾソプラノ 谷口睦美 テノール 山本耕平 バリトン 大西宇宙 合唱 東京混声合唱団

曲目 ● クリスマス序曲／N.ヘス／P.リトルモア
● 交響曲第9番ニ短調作品125「合唱つき」／L.v.ベートーヴェン／保科洋 編

課題曲コンサート2027

2027年 **3月27日** [土] 開演14:00(開場13:00) 東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 大井剛史 (常任指揮者)

曲目 ● 2027年度全日本吹奏楽コンクール課題曲全曲 ほか

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史(常任指揮者)&中橋愛生(楽芸員)が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とはひと味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。今回は、11月8日開催の第176回定期演奏会についてご紹介いたします。

第13回

2026年 **10月8日** [木] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

料金 2,500円(税込) 詳細はオフィシャルサイトをご確認ください

共催：管楽器専門店ダク



Original goods

TKWO オリジナルグッズ

東京佼成ウインドオーケストラでは、
オリジナルグッズを販売しています。
自主演奏会の会場やTKWO オンラインショップにて
ご購入いただけます。



ハンドタオル



楽器クロス



クリアファイル



リングノート

ほかにも多くの商品が
ご用意しております。



ご購入・詳細はこちら

Vincent Bach — The Art of Sound

奥山 泰三
TOKYO KOGEI WIND ORCHESTRA
東京佼成ウインドオーケストラ

本間 千也
河原 史弥
ガルシア 安藤 真美子

PHOTO by Masanori DOI

Bach サイト www.nonaka.com/bach/

NONAKA いい楽器をあなたのもとへ

総輸入元 野中貿易株式会社 | 総発売元 株式会社ノナカ | 231-0011 横浜市中区太田町4-46



MVSICA DELECTAT ET CONSOLATVR

音楽は ある時は人々によろこびを与え ある時は人々を勇気づけ またある時は人々の悲しみを癒す



ダクホームページはこちら

管楽器専門店 ダク
TEL 03-3361-2211 / FAX 03-3361-4300
Eメール info@kddac.co.jp / https://www.kddac.co.jp/
【営業時間】11:00~19:00 (日祝日は10:30~19:00) (定休日) 毎月第1・第3水曜日 (祭日を除く)

ミュージックスクール「ダ・カーポ」
TEL 03-3361-4110
Eメール dacapo@kddac.co.jp
https://www.music-dacapo.com/
【開校時間】月~金曜日 11:00~22:00、土曜日 11:00~21:00
日曜日・祝日 11:00~19:00
【休校日】当スクールの定めた日

コンサート・リハーサル スペースDo (ド)
【お問合せ】管楽器専門店ダク
TEL 03-3361-4110
Eメール dacapo@kddac.co.jp
【開校時間】月~金曜日 11:00~22:00、土曜日 11:00~21:00
日曜日・祝日 11:00~19:00
【休校日】当スクールの定めた日



届きたい、
大切な人がいます。
60年間、多くの人との
出会いがありました。
そのなかで私たちは
たった一行の文章が
人を励まし、思いをつなぎ、
希望に変えていくことを知りました。
それを教えてくださった
すべての人に感謝し、
私たちはこれからも
皆様とともに歩み続けます。

おかげさまで創立60年
2026.8.29

 佼成出版社

〒166-8535 東京都杉並区和田 2-7-1 TEL.03(5385)2311(代表) FAX.03(5385)2395
<https://kosei-shuppan.co.jp/>

佼成出版社
創立60周年記念サイト



 **YAMAHA**
Make Waves



BLENDING AND RESONANCE

Custom

YEP-843S
カスタムユーフォニアム

YEP-843TS
トリガー付きカスタムユーフォニアム

EUPHONIUM

お問い合わせ

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器 ご相談窓口
携帯電話、IP電話からは 050-3852-4087へおかけください。
受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、センター指定休日を除く)

製品情報
はこちら▶



株式会社ヤマハミュージックジャパン

Hoshina Music Office



アマチュアだからこそ、世界の名曲を楽しんでもらいたい。
難易度は抑えつつも、最大限の演奏効果を得られるように。
作曲家・指揮者として、吹奏楽を知り尽くした保科洋の編曲！
レンタル楽譜（1年間）22,000円から。

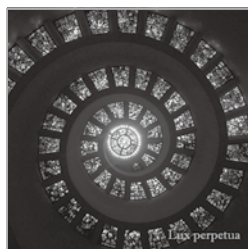
- J. シュトラウス / こうもり序曲 ※全曲作品は
R. ワーグナー / エルザの大聖堂への行列 一部レンタルも可
P. チャイコフスキー / 白鳥の湖（全曲）
M. ファリャ / 三角帽子（全曲）
N. リムスキー＝コルサコフ / シェラザード（全曲）
M. ラヴェル / マ・メール・ロア（全曲）
M. ラヴェル / ダフニスとクロエ（第二組曲）
L. ベートーヴェン / 交響曲第9番「合唱付き」（全曲） ほか 14 曲

スコア閲覧サービス有 / 被災地割引有（お問い合わせ下さい）

ご注文・お問い合わせはウェブサイトにて

<https://hoshina-music.com>

Tel : 0795-46-0663 / Fax : 050-3000-3067



日本ウエストミンスター株式会社

あなたの演奏音源や CD の音楽配信をサポートします。
Spotify、AppleMusic、Amazon ほか有名配信ストアにて
1 曲からの配信も可能。配信費用無料、売上分配します。
まずはお気軽にご相談ください！

大好評発売中 !!

麗しき音楽の巫女たちが紡ぐ、ユーフォニアムの魅力に酔え！

小久保まい・稲垣満有子 レコード芸術・準推薦版!!
保科洋・芳賀傑作品集「巫女の舞」JXCC-1121 ¥3,300

時代が求める祈りと癒し。アヴェマリアなどオリジナル全8曲

松岡宏明・金益研二・田井中悠美
「Lux perpetua」NWCC-9009 ¥2,500



CD 制作・音源配信・楽譜出版・著作権相談・印税分配
どなたでもお気軽にご相談ください
日本ウエストミンスター株式会社（担当・保科純）
〒171-0033 東京都豊島区高田 2-12-21-504
TEL:03-3989-1678 FAX:03-3989-1672
EMAIL: office@nihon-westminster.com



第9回保科洋指揮法クリニック

2027年4月25~26日 於：加東市東条文化会館
開催決定！

01

受講生・聴講生から金賞受賞・県大会・支部大会等への進出続出！

02

学生・団員から「指揮が変わった、見やすくなった」の声多数！

03

まず「どういう音楽を創るか」を考え、その音楽を奏者に表現してもらうには、どういう指揮が良いかを教えます！



第1回保科洋指揮法クリニック
完全収録 DVD/Blu-Ray
（パルス東京より好評発売中 !!）

詳しくは専用ウェブサイトで

保科洋指揮法クリニック



DVD/Blu-Ray
7,150円（税込）
お求めはこちら→



楽曲分析とは何か。演奏解釈とは何か。
楽譜とは、作曲者からの手紙——。

“ 自然な演奏とは楽譜上の時間的な音の長さや高さに忠実なのではなく、楽譜（音符）の変化を生み出している、エネルギー変化の様相に忠実なのです。
——第2章第4節より抜粋

才能や感性の問題として語られがちな演奏活動を、普遍的な自然科学との類推によって誰にでも実践できる理論として解き明かす話題の書。

保科洋 著

生きた音楽表現へのアプローチ（改訂版）
～エネルギー思考に基づく演奏解釈法～

定価：4,400円（税込） Amazon にて販売中

